■２ロータリー化を踏まえた道路の役割分担について

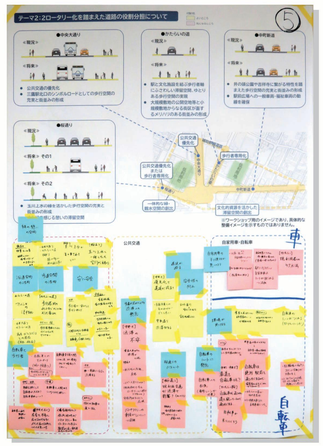
●良いところ

- 歩 人中心でにぎわいの創出につながる
- 歩 障害のある方も歩きやすい
- 歩 かたらいの道が歩いていて楽しい空間になるのはとても魅力的
- 歩 桜通りはもっと玉川上水を活かすいいチャンス
- 公 優先化により運行がスムーズになる
- 自 歩道を広げることで専用レーンを確保できる
- 他 にぎわいの創出につながる

●気になるところ

- 歩 桜通りを人が憩える空間とするなら、今と同じ一方通行でよい
- 公 桜通りが歩行者専用になると公共バスのルートが不便になる
- 自 中町新道のみが駅への経路となると周辺道路の渋滞が気になる
- 自 自転車への配慮（専用レーンが必要）
- 自 自転車は駅前を通りたくなるので、安全なルートがどこかにできるのか
- 他 商業者（荷物等）への配慮が必要
- 他 100 年後に振り返ってよく考えてくれたと思われる街

等



■「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に対する感想について

●全体

- 交通環境を整理することで新しい三鷹駅北口の可能性を広げられると感じた
- 歩行者優先という考え方はいい
- 将来に残る三鷹駅であってほしい
- 歩行者にかたよりすぎず（優先しても）駅利用と周辺利用のバランスのため、機能の議論が必要

●駅前広場について

- 交通の棲み分けはとてもいいと思う
- 2 ロータリー化の考え方を実現するためには広いスペースの確保が必要
- 駅広の拡張よりペデストリアンデッキの方が現実的？

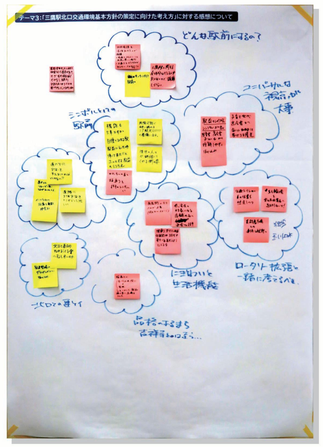
●周辺道路について

- 玉川上水の歩行空間に期待
- 歩行者優先という考え方を活かすために、自転車の扱いを考える必要がある
- 障がい者のルートを考えてほしい

●低利用地について

- 低利用地を活用した駅前拡張に期待
- 低層の駅前は維持してほしい、南口とは違う良さ

等



■アンケート

「基本的な考え方」へのご意見、ご感想についてお聞きします。アンケートは Web、郵送、FAX から回答いただけます。Web の場合は、右の二次元バーコードを読み込むか、URL を入力ください。郵送・FAX の場合は下記問い合わせ先にお送りください。8 月 26 日（金）必着です。

WEB で回答

https://bit.ly/3SEItx5

今後の予定

	開催時期	実施内容・検討テーマ
研究会（第１回）	8 月 5 日	考え方１　将来イメージ・現状の問題点・駅周辺道路の交通体系の再編
研究会（第２回）	9 月	考え方２　駅前広場の 2 ロータリー化 考え方３　駅前広場の拡張
研究会（第３回）	10 月	考え方４　沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくり 報告書（仮称・素案）の検討
アドバイザー委員会	12 月	報告書（仮称・案）の確認
研究会（第４回）	令和 5 年 1 月	報告書（仮称）の取りまとめ

※各開催日は決まり次第、市ホームページや市報でお知らせします。

「基本的な考え方」や各取り組みの資料・記録は市のホームページでご覧いただけます

右記の二次元バーコードをスマートフォン等で読み取っていただき、市ホームページでご覧いただけます。

資料・記録

https://bit.ly/3js97IS

＜問い合わせ＞
武蔵野市 都市整備部まちづくり推進課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2-2-28
武蔵野市役所東棟 4 階
電話 0422-60-1872　FAX 0422-51-9250

発行：武蔵野市　令和 4 年 8 月

三鷹駅北口 街づくりニュース 第２号

（オープンハウス・ワークショップ号）

市民の皆さまから “歩行者中心”の交通街づくりへの ご意見をいただきました

「三鷹駅北口街づくりビジョン」で描く目指すべき街の姿「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」の実現に向けた取り組みを進めています。

今後の駅周辺の再整備に向けて、“歩行者中心”の交通街づくりについて市民の皆さまからご意見をいただくために、5 月と 6 月にオープンハウスとワークショップを開催しました。今回はそのご意見を紹介します。

検討プロセス

- 街づくりビジョン　H29 年度
- ENJOY OPEN STREETs 武蔵野　R1 年度
- ENJOY OPEN TERRACEs 武蔵野　R2 年度
- 基本的な考え方
- 研究会（準備会）　R3 年度
- オープンハウス　今ココ
- ワークショップ（２日間）
- 研究会（第１回）　R4 年度
- 研究会（第２回）
- 研究会（第３回）
- 研究会（第４回）
- 交通環境基本方針の策定　R5 年度
- 具体的検討
- 再整備へ
  補助幹線道路の完成
  歩行者中心の駅周辺

ここでは、これまでとこれからの取り組みを紹介します。

これからの取り組みでは「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方（以下「基本的な考え方」）」に示す、交通環境の課題とその解決に向けた 4 つの考え方をたたき台として、検討を進めていきます。

これまでの取り組み

■ 三鷹駅北口街づくりビジョン

概ね 10 年後の将来の目指すべき街の姿を描き、交通環境、土地利用、緑・にぎわいの３つの視点で実現に向けた取り組みを定めました。

■ ENJOY OPEN STREETs 武蔵野

地域の企業や団体と連携し、かたらいの道、桜通り等の公共空間を、車両通行止めにし、歩行者中心のにぎわいエリアとする社会実験を行いました。

■ ENJOY OPEN TERRACEs 武蔵野

沿道店舗と協力し、歩道上に客席を設置することで、日常的に街なかでの食事や、ちょっとした休憩ができるような、滞留空間をつくり出す社会実験を行いました。令和 4 年度も実施しました。

基本的な考え方へのアンケートを実施中

（本紙の末尾をご覧ください）

https://bit.ly/3SEItx5

■ オープンハウス　New

地域のイベントに合わせてブースを出展し、パネルによる「基本的な考え方」の情報発信や意見収集を行いました。

■ ワークショップ　New

市民の皆さまから参加者を募り、グループワーク形式で参加者同士が意見交換を行いました。

これからの取り組み

■ 関係団体による研究会

三鷹駅北口で事業を営む商店会、法人会や、駅を利用する子育て世帯や高齢者、障害者の関係団体、公共交通を担う交通事業者等が参加し、意見交換を行います。この結果を市で報告書（仮称）として取りまとめます。

オープンハウスとワークショップを開催しました（中面）→

「基本的な考え方」へのご意見をいただくため、オープンハウスとワークショップを開催しました

市民の皆さまに「基本的な考え方」を知っていただき、広くご意見を伺うため、オープンハウスとワークショップを開催しました。

オープンハウスでは、地域イベントの来場者や通行者に「基本的な考え方」を紹介し、ご意見をいただきました。

ワークショップでは、三鷹駅北口にふさわしい交通街づくりと、それを実現するための具体的な考え方について、グループワーク形式で意見交換を行っていただきました。

■オープンハウス
日時：令和４年５月 28 日（土）
場所：かたらいの道
（タワーズマルシェ＠むさしのブース）

■ワークショップ
日時：
〔1 日目〕令和４年６月４日（土）
〔2 日目〕令和４年６月 25 日（土）
場所：武蔵野芸能劇場 小ホール

■オープンハウス

当日は人が絶えることなく、約 340 人の方にご来場いただきました。その内、77 人の方にヒアリングし、ウォーカブルな街づくりについて多くの共感の声がありました。中にはパネルに足を止めて熱心にご覧になる方や「初めて知る機会となって興味深い」といった感想をお持ちの方もおり、ご家族連れやご友人連れの方など、さまざまな方からご意見をいただきました。

共感した考え方に「いいね」シールを貼ってもらいました（合計 121 枚）

個別のご意見もらいました

～個別のご意見の紹介～

■現状の問題点について

- 人や車が錯綜して危ない
- 桜通りが暗い
- かたらいの道との横断歩道に信号機がない
- 滞留空間が少ない
- 子供の遊ぶ場所が遠い　等

■駅周辺道路の考え方について

- 迂回は負担に感じない
- かたらいの道に信号をつけてほしくない
- 桜通りの車道を狭めることは賛成だが、いきなり歩行者専用化は難しいのでは
- 荷捌きスペースがあるといい
- 歩行者の次に自転車の通路を確保してほしい
- 渋滞が発生しないか気になる　等

■駅前広場の考え方について

- 歩行者優先にしてほしい
- 三鷹駅北口にあったウォーカブルを目指すべき
- 休憩できるスペースがあるといい
- 空が見えなくなるため、ペデストリアンデッキ反対
- 現実性がない、ペデストリアンデッキは方法としてどうか
- 駅前が通り抜けできないのは困る　等

■沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくりについて

- 桜通りの水辺が活用されるといい
- 子供が遊べる場所がほしい
- 道に出たくなるイベントがほしい
- 空間がないため、新しいビルが必要、ただし高さは１０階以下で高いと落下物の危険がある
- 再開発はあるか？デベロッパーとの協力で大きく進むのでは？　等

■その他

- ウォーカブルを実現した先がわかるといい
- 西久保の住環境は守ってほしい
- 駅前もにぎわいはいらない
- 歩行者を優先にした方がまちの価値が上がる　等

■ワークショップ

２日間のワークショップでは、両日ともに３０名以上の方にご参加いただき、１０代から８０代の幅広い方々からさまざまな視点でご意見をいただきました。

１日目に参加者が思う三鷹駅北口にふさわしい交通街づくりについて確認し、２日目はそれを実現するための具体的な考え方について参加者同士で意見交換を行いました。

１日目では、大切にしたいこととして「駅前の広がり・開放感」や「玉川上水の緑」等が挙げられた一方、問題点として「歩車動線の錯綜」や「駅前のスペース不足」等が指摘されました。将来の駅前広場には、「ウォーカブルな空間」を望むご意見が多くありました。

２日目では、「2 ロータリー化により車と歩行者の動線が交錯しないのがよい」、「自家用車の乗降スペースができて便利になる」等のご意見が多くありました。一方で「自家用車の迂回が不便」、「自転車への配慮が必要」といったご意見もありました。

付箋に意見を書いて台紙にまとめました

■1 日目

■三鷹駅北口周辺の大切にしたいことや印象について

●駅前広場
- 駅前の広がり開放感がある、空が広い
- 平面での移動が可能なレイアウト
- 世界連邦平和像と独歩の碑、イルミネーション
- 信号機がなく人が溜まらない

●周辺道路（中央大通り、かたらいの道、中町新道、桜通り）
- 中央大通りはイチョウ並木がきれいで、幅が広く見通しが良い
- 玉川上水と周辺の緑

●にぎわい
- 静かな雰囲気
- 小さな個人店が点在している
- ツインタワー周辺の開放感がいい

●自然・景観
- 道路沿いやロータリーの木々は残した方がいい
- 豊かな緑の中に人と生活があるような雰囲気を大切にしたい

●利便性
- 駐輪場が充実している
- 公共交通が便利

等

1日目

三鷹駅北口にふさわしい
交通街づくり

将来に残したい　現状認識　将来取り入れたい

2日目

交通街づくりの実現化に向けた考え方

駅前広場	周辺道路
テーマ1 拡張を伴う2ロータリー化について	テーマ2 2ロータリー化を踏まえた道路の役割分担について

テーマ3
「三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に対する感想について

■駅前広場や周辺道路の問題点について

- 歩 人と車の動線が交錯している
- 歩 バス停への横断歩道が危ない
- 歩 歩道の根上がりが危ない
- 歩 玉川上水を感じられない
- 公 公共交通の待ち場が狭く、屋根がない
- 公 タクシー乗り場が不自然で使いにくそう
- 公 駅前の未利用地を使いきれていない
- 自 自転車の専用道やレーンの不足、迂回する道
- 自 駅前ロータリーの通過交通が多い
- 自 送迎のための停車スペースの不足
- 自 バス専用降車スペースがわかりにくい
- 自 人が途切れないため車が通りにくい
- 他 福祉車両の停車スペースの不足
- 他 非常時、災害時が心配

等

■概ね 10 ～ 20 年後の三鷹駅北口のイメージや過ごし方について

●駅前広場
- 車でも徒歩でも駅利用が容易で安心
- 2 ロータリー化で歩行者の流れを大事にする

●周辺道路
- 人優先の道があって良い
- 子供を連れていても安心できる道

●にぎわい
- 楽しくおしゃべりができる
- テイクアウトして仲間と広場でくつろぐ

●自然・景観
- 公園など滞留ができる場所
- 緑や水、自然が感じられる開放的な空間

●安全・安心
- 歩行者と車の共存ができる空間
- 平らで歩きやすく

●その他
- 利便性のみの追及は避けたい
- 大きな変化は望まない、今のままでいい

等

■2 日目

■拡張を伴う 2 ロータリー化について

●良いところ
- 歩 まっすぐに駅の向こうに行けて便利
- 歩 子供、高齢者も安心して駅に向かえる
- 公 一般車がロータリーに入ってこないので、バスがスムーズに動ける
- 公 バスの定時性向上に寄与できると思う
- 自 乗降スペースができたら便利、安全
- 自 公共交通との錯綜がなくなる
- 他 歩行者優先なら、信号を付けないほうがいい

等

●気になるところ
- 歩 中央大通りを横切る人はどうするのか
- 公 バスストップが大量に並ぶのは見栄えが悪い
- 公 ムーバスが不便になりそう
- 自 迂回路があっても遠回りになってしまう
- 自 送る車はいいが迎えの車は待つ必要があるため、うまく機能するかわからない
- 自 周辺道路への影響が出るのではないか
- 他 拡張するにしても地権者の合意が得られないのでは
- 他 近隣住民と遠方住民のニーズが異なるかも
- 他 もっとウォーカブルに割り切ってもいいのでは
- 他 立体化にすれば１ロータリーでもよさそう

等

凡例
- 歩：歩行者の視点
- 公：公共交通の視点
- 自：自動車・自転車の視点
- 他：その他

ワークショップ続き／アンケート／今後の予定（裏面）